

い・せ・きワールド in 前橋 2012

平成23年度 前橋市埋蔵文化財発掘調査のまとめ



元総社蒼海遺跡群(38)

もとそうじゃちく　くかくせいり　あた　どうろ　せいかつ　べんり　と　こんねんど　くかくせいり
元総社地区では、区画整理(新しい道路などをつくり、みんなの生活を便利にすること)に取り組んでいます。今年度も区画整理
おこな　まえ　はつくつようさ　おこな　なか　こふんじだい　みぞあと　どき　しゆつど　どき　ちか
が行われる前に発掘調査を行いました。その中で古墳時代の溝跡から土器がまとまって出土しました。これらの土器は近くで
まつ　おこな　あと　す　かんが　どき　あつ
祭りが行われた後にまとめて捨てられたと考えられます。おわん・かめ・つぼなどたくさんの土器が集められています。



平成23年度の発掘調査

今年度も前橋市のたくさんの場所で発掘調査が行われました。発掘調査では、住居・土坑・溝などの生活の跡や、おわん・かめ・つぼなどの道具がたんさん見つかりました。見つかったものをよく観察すると昔の人々がどのようにして生活していたかが分かります。

元総社蒼海遺跡群(38)



☆表紙の写真は別角度から撮るとこうなります。たくさんの土器が集まっている様子がよく分かりますね。



↑ 住居跡から青銅でつくられた鈴が出土しました。



↑ たくさんの土器が出土した古墳時代の溝跡。

表紙の写真は矢印の方向から撮影しました。

大渡道場遺跡

☆古墳時代の水田と畠(はたけ)跡。平安時代の集落、中世と思われる屋敷跡が見つかりました。また、572枚のお金が見つかりました。

上野国府調査

☆7つのトレンチを設定して調査しました。

元総社蒼海遺跡群(38)

元総社地区には、奈良・平安時代に国府(今でいう県庁)が、室町時代には蒼海城がありました。当時の政治の中心地でした。

← 元総社公民館北側の調査区では古墳時代の水田跡が見つかりました。現在の水田にくらべるととても小さな水田です。

前橋城(三の丸門東地点)



☆前橋城三の丸の堀跡が見つかりました。堀の内側にはたくさんの石が積み重ねられており、一番下には松の木がおかれていることが分かりました。

総社町屋敷南遺跡No.2

☆宝塔山古墳の北側にあたる堀が見つかりました。堀の中には浅間山の噴火による浅間B軽石が落ちていました。

ひとことプラス！

☆浅間山は大昔から噴火を繰り返している火山です。噴火で飛び出した軽石には名前がついています。主な軽石の名前を下にまとめておきます。

年代	名称	記号
1783年	浅間A軽石	As-A
1108年	浅間B軽石	As-B
4世紀初頭	浅間C軽石	As-C
縄文時代中期	浅間D軽石	As-D

総社稲荷塚大道西遺跡No.2



☆平安時代の集落が見つかりました。付近には上野国府等の遺跡があり、多くの住居跡が見つかります。

朝倉伊勢西遺跡No.2

☆古墳時代と奈良、平安時代の集落が確認されました。東端の地区からは約50軒の住居跡が見つかり、長い間にわたって人々が生活し続けている様子が分かりました。

朝倉工業団地遺跡群



☆古墳時代と平安時代の水田跡が見つかりました。また、平安時代の集落からは出土例の少ない高盤(こうばん)という土器が見つかりました。

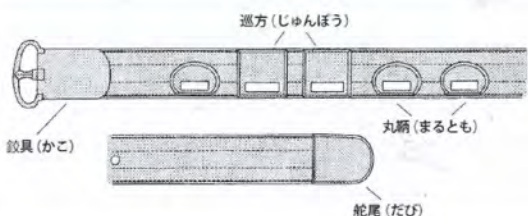
BC10000	BC200	AD300	710	784	1192	1338	1573	1608
縄文	弥生	古墳	奈良	平安	鎌倉	室町	安土桃山	江戸

平成23年度 埋蔵文化財発掘調査一覧表

遺跡名	所在地	主な時代
あさくらいせにし 朝倉伊勢西遺跡No.2	朝倉町	古墳、奈良・平安時代
あさくらこうぎょうだんち 朝倉工業団地遺跡群	下佐鳥町・亀里町	古墳、奈良・平安時代
おおわたりどうじょう 大渡道場遺跡	大渡町	縄文、古墳、奈良・平安時代
こうざけくくふあと 上野国府跡	元総社町	奈良・平安時代
そうじやいなりづかおみちにし 総社稲荷塚大道西遺跡No.2	総社町	平安時代、中世
そうじやまちやしきみなみ 総社町屋敷南遺跡No.2	総社町	古墳時代
まえばしじょう(さんのまるもんひがしちてん) 前橋城(三の丸門東地点)	本町	平安、中世、近世
もとそうじやおうみ 元総社蒼海遺跡群(38)	元総社町	古墳、奈良・平安時代、中世

ひとことプラス！

☆左の2枚の写真は石で作られた丸鞘という奈良・平安時代の役人がつけていたベルトの部品です。ベルトの部品によって様々な名前がついています。



大渡道場遺跡



↑ 572枚の室町時代のお金が1つの土坑の中から出土しました。

ひとことプラス！

かまくら ☆鎌倉時代なかばから室町時代に使われていたお金のほとんどは中国からゆにゅう輸入されていました。この土坑から出土したお金の半分以上は「北宋」という中国の王朝でつくられたものです。



↑ お金はひもで6つのたばにまとめられていました。



かまくら 鎌倉時代なかばから室町時代にかけては「もん」というお金の単位が使われていました。お金1枚が1文で、およそ96～97枚をひもでまとめて100もんとして使っていました。



↑ 1つのたばにはお金が97枚ありました。

上野国府について



← 人々にぎわう上野国府 (想像図)

こうづけこくふ ☆上野国府は、古くから元総社町の総社神社周辺にあったと考えられていました。近年の発掘調査で総社神社の東の牛池川から人形や「国厨」や「曹司」と書かれた墨書土器がたくさん見つかりました。また、関越自動車道を造るときの発掘調査では国府の神社跡が発見されました。当時使われていた文房具なども発掘されています。これらのことから、総社神社から関越自動車道の一帯が、国府の範囲と推定されます。

☆現在、前橋市教育委員会では上野国府の解明を目的に、元総社倉海地区で発掘調査を行っています。

今年度の調査



↑ 調査作業の様子 (3トレンチ)



奈良・平安時代と考えられる溝跡(6トレンチ) →



施設の名前が墨で書かれた土器(元総社寺田遺跡) →

役人が使っていた印 (復元品) →



用語解説

【国府】 国司が儀式や政治を行った建物や役人が働いていた役所、役人の家、兵士の宿舎、市場、学校、百姓の民家などを含む全体の総称。

【国厨】 役人の食事を提供する台所の施設。

【曹司】 役所の建物の総称。

●問い合わせ●

平成24年3月31日発行 前橋市教育委員会文化財保護課
前橋市三俣町二丁目10番地2 電話027-231-9875・9531 FAX027-231-9862
<http://www.city.maebashi.gunma.jp/>
Eメール bunkazai@city.maebashi.gunma.jp

